

# 吹田市第3次環境基本計画 令和2年度環境施策の実績一覧

令和3年3月31日現在

## この冊子について

本冊子は、目標の達成に向けて実施する個々の施策（環境施策）の進捗状況と市による自己評価をまとめたものです。  
施策ごとに令和2年度（2020年度）と令和元年度（2019年度）の実績を比較して評価を行い、その理由や見解を示しています。

---

### 【目次】

#### ■重点戦略

- 1 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みを「はぐくむ」・・・・・・・・P1～P2
- 2 良好な環境を「まもる」・・・・・・・・P3～P4
- 3 気候変動による影響に「そなえる」・・・・・・・・P5

#### ■分野別目標

- 1 再生可能エネルギーの活用を中心とした低炭素社会への転換・・・・・・・・P6～P7
- 2 資源を大切に作る社会システムの形成・・・・・・・・P8～P10
- 3 健康で快適な暮らしを支える環境の保全・・・・・・・・P11～P12
- 4 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成・・・・・・・・P13～P14  
（一部施策については、「吹田市第2次みどりの基本計画 改訂版）で進行管理を実施）
- 5 快適な都市環境の創造・・・・・・・・P15～P16

#### 【評価について】

次ページ以降の評価については、令和元年度の環境施策の実績と比較し、以下のとおり評価しています。

○：取組が進んだ（新規事業の実施や取組内容の改善・拡充により取組が進んだ場合）

△：変化なし（事業が継続されて実施されているなど、取組に大きな変化がなかった場合）

×：後退した（事業の廃止や縮小、その他の理由により取組が後退した場合）

－：比較できない（事業内容の変更等により比較ができないなど、上記の3つに当てはまらない場合）

令和2年度の実績							令和元年度の実績（参考）			
施策の柱	施策	担当室課	自己評価	令和2年度の実績及び評価の理由	備考	取組内容	令和元年度の実績及び評価の理由（参考）	担当室課	備考	
持続可能なライフスタイルを実践する人材を“はくくむ”	学校での環境教育の推進	学校教育室	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育担当者会を1回実施。国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。成果や課題について交流し、教職員の資質向上も図った。</li> <li>・【小学校】吹田市立岸部第二小学校、【中学校】吹田市立第一中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入</li> <li>・みどりのカーテン6校で実施。</li> <li>・ピオトープを小学校18校、中学校1校で実施。</li> <li>・学童農園を1校、校内ミニ水田を12校、バケツ稲を10校、ペットボトル稲を3校で実施。</li> <li>・エコスクール活動簿（環境の取組チェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の向上を図った。各校の実情を環境教育担当者会で交流し、取組の推進を促した。</li> <li>・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。</li> <li>・NPO法人や（公財）千里リサイクルプラザと連携した環境学習展示発表会への参加に向けて準備を進めてきたが、緊急事態宣言の発令を受け、中止した。</li> </ul>		① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の開発や情報の提供</li> <li>・教職員の資質向上に向けた研修等の実施 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育担当者会を2回実施。企業等の出前授業やサービスについての紹介や、国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。成果や課題について交流し、教職員の資質向上も図った。</li> </ul>	学校教育室		
						② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>【小学校】吹田市立千里第二小学校、吹田市立高野台小学校</li> <li>【中学校】吹田市立第五中学校、吹田市立山田東中学校</li> <li>各小中学校に太陽光発電 10kW を導入</li> </ul>	学校管理課		
						③ みどりのカーテン、ピオトープ、ミニ水田などの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりのカーテン9校で実施。</li> <li>・ピオトープを18校で実施。</li> <li>・学童農園を20校、校内ミニ水田を13校、バケツ稲を2校で実施。</li> </ul>	学校教育室		
						④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコスクール活動簿（環境の取組チェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の向上を図った。各校の実情を環境教育担当者会で交流し、取組の推進を促した。</li> </ul>	学校教育室		
						⑤ 環境学習副読本等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。</li> </ul>	学校教育室		
						⑥ 環境教育の場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人や（公財）千里リサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。出前授業の紹介を4月に行うことで、見通しのある環境教育を提供できた。</li> </ul>	学校教育室		
		環境に関する啓発活動及びイベント等の開催	環境政策室	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。</li> <li>・すいた環境教育フェスタ（ウェブ開催）において、地球温暖化防止や食品ロス削減などに関する掲載</li> <li>・地球温暖化防止のため「すいたクールアースウィーク」を実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。</li> <li>環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に「すいた環境教育フェスタ（ウェブ開催）」を開催した。各出展団体の環境に対する取組や団体の紹介等。</li> <li>地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした食品ロス削減講座を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした全体会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、一部開催できないイベントがあった。また、市民・事業者・行政が三者協働でごみ減量再資源化に取り組む「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」にて、年1回意見交換をした。</li> <li>例年実施している環境学習発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しなかった。</li> </ul>		③ 講演や講座などの学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。</li> <li>・マイクロプラスチックに関わる講演会1回</li> <li>・みどりのカーテン講座1回</li> <li>・エコクッキング講座1回</li> <li>・エコキャンドル講座1回開催</li> <li>・じぶん発電所づくり基礎講座1回</li> </ul>	環境政策室	
			学校教育室	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里リサイクルプラザと共催の1月29日から1月31日に開催する予定だった「第22回環境学習展示発表会」に向けて、学校における取組の周知を図った。</li> </ul>		② 効果的なイベント（講習会・発表会、展示など）の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。</li> <li>・特定外来生物駆除フィールドワーク1回</li> <li>・みどりのカーテン講座1回</li> <li>・エコクッキング講座1回</li> <li>・すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトルの啓発、食品ロスに関する展示</li> <li>・エコキャンドル講座を1回実施</li> <li>・じぶん発電所作り基礎講座実施1回</li> <li>・地球温暖化防止のため「すいたクールアースウィーク」を実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。</li> <li>環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に令和2年2月1日（土）「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は602名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。</li> <li>・生物多様性に係るイベント1回（中止：新型コロナウイルスのため）</li> <li>市民・事業者・行政が三者協働でごみ減量再資源化に取り組む「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」にて、年2回意見交換をした。また、スーパーの店頭で食品ロス削減キャンペーンを実施した。</li> </ul>	環境政策室	
		地域において環境保全活動を担う人材の育成	環境政策室	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績なし</li> <li>（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「すいた環境サポーター養成講座」を中止したため）</li> </ul>		④ 地域において環境保全活動を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。12名が講座を受講し、9名が修了した。</li> </ul>	環境政策室	
		木育の推進	環境政策室	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源リサイクルセンターにて、木工工房を設置し、来館者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境を設けている。</li> <li>また、指定管理者にて、木工教室や木工体験イベント等木育につながる取組を実施している。</li> </ul>		新規項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源リサイクルセンターにて、木工工房を設置し、来館者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境を設けている。</li> <li>また、指定管理者にて、木工教室や木工体験イベント等木育につながる取組を実施している。</li> </ul>	環境政策室	
		保育・教育を所管する室課	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績なし</li> </ul>		新規項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>例）保育園や幼稚園に木育に関する啓発を行った。</li> </ul>	保育・教育を所管する室課		
	地域における環境学習の推進	まなびの支援課	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃油石鹸づくり、樹木観察、等8講座139人の参加</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で主催講座は例年並みに開催できていない。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生涯学習出前講座は実施を見合わせた。</li> </ul>		地域における環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>古布の活用、古着のリフォーム、廃油石鹸づくり、廃材を利用した物作りなどの環境講座を地区公民館主催講座として開催（計21回）</li> <li>市報すいたやホームページ等で広報を行い、市内の団体から4件の講師依頼があり、環境教育について講師を派遣し出前講座を実施した。</li> </ul>	まなびの支援課		

令和2年度の実績						令和元年度の実績（参考）					
は く む	環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はくむ”	環境マネジメントシステムの導入促進	環境政策室	△	大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、各団体のエネルギー消費状況の推移やキャンパス等での取組等について意見交換を行った。	【1】 環境に配慮した事業活動への転換に向け環境マネジメントシステムの導入促進を図ります。	これまで、環境マネジメントシステムの導入促進を目的に、大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議を実施し、キャンパス等での環境マネジメントシステムに関する意見交換等を行い、同システムの導入に向けた議論を行ってきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同会議の開催を中止した。	環境政策室			
			地域経済振興室	△	令和2年度 エコアクション21認証取得事業補助金の交付実績は1件であった。今後も補助金制度の周知を図っていきます。		令和元年度 エコアクション21認証取得事業補助金の交付実績については、申請がなく0件であった。今後も企業訪問等により、補助金制度の周知を図っていく。	地域経済振興室			
		環境配慮行動に関する啓発活動の推進	環境政策室	△	多量排出占有者202事業者に対し、ごみ減量マニュアルを配布した。また、事業系一般廃棄物について研修会を開催し、ごみの減量・再資源化への意識を高めた。 吹田市役所におけるごみ調査については、新型コロナウイルスの影響で実施していない。		多量排出占有者202事業者に対し、ごみ減量マニュアルを配布した。また、事業系一般廃棄物について研修会を開催し、ごみの減量・再資源化への意識を高めた。 吹田市役所におけるごみ調査については、新型コロナウイルスの影響で実施していません。	環境政策室			
		事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進	環境政策室	-	実績なし			例) 事業者へ省エネ機器への買い替えを促すために、●●を行い、◆者の申請を受けた。	環境政策室		
		事業者の環境意識向上に向けた啓発・取組推進	環境政策室	-	実績なし			例) 能勢町のクリ再生プロジェクトの参加について市内の企業へ呼びかけを行った。	環境政策室		
			地域経済振興室	-	新型コロナウイルス感染症により、企業訪問や中小企業セミナーなどでの啓発が行えなかった。HPやSNS等を活用し周知・啓発を図っていきます。			企業訪問等により、環境に配慮したビジネススタイルや協働取組の周知・啓発を行った。	地域経済振興室		
環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はくむ”	市民・事業者・市民団体等と協働した取組の推進及び支援	環境政策室	△	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数46名 ・すいた環境教育フェスタ（ウェブ開催）に参加 ・エコレターの発行年3回 ・すいたクールアースウィークを実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・食品ロス削減の取組として、「すいた食べきり運動」の更なる推進するために、要領を策定し、これまでの同運動の協力店に再度の確認を行うとともに、アジェンダ21すいたのホームページにて協力店の募集記事を掲載。  例年実施している環境学習発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による	⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発	アジェンダ21すいたにおいて、環境学習としての学校版C O2ダイエットに取り組む学校の発掘に取組んだ。現状、取り組む学校は見当たらなかったが、今後はサタースクール等、アプローチ方法を変えて、引き続き、取り組む学校の発掘に取り組んでいく。	環境政策室			
		市民自治推進室	-	実績なし		① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数62名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催3団体から合計7名参加 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコクッキング講座1回 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・エコレターの発行年4回 ・すいすいくん祭り・吹田市立博物館夏展示におけるまちなか水族館ボランティアによる淡水魚の展示 ・エコキャンドル作りを実施1回対象者合計32名 ・省エネ相談会を実施3回計34組。 ・じぶん発電所作り基礎講座実施1回対象者28名。 ・すいたクールアースウィークを実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・CO2排出ほぼゼロによる「すいたムーンライトコンサート」を開催、約500名の来場者があった。 ・食品ロス削減の取組として、北千里駅、南千里駅、及び千里山駅周辺の店舗等を回り、食品ロス削減に関する啓発グッズの掲示等の協力要請を行った。「すいた食べきり運動啓発キャンペーン推進協力店」は、現在74店舗であり、アジェンダ21すいたのホームページに一覧を掲載予定。 ・生物多様性に係るイベント1回（中止：新型コロナウイルスのため）	環境政策室			
		地域経済振興室	-	実績なし		・さまざまな主体が集い、活動や交流を進める場の整備の推進 ・市民団体や企業などを中間支援するパートナーシップ組織の形成	（公財）千里リサイクルプラザと共催で、環境学習発表会を2月1日に、環境学習展示発表会を2月1日から2月7日に開催することにより、市内の小学校等における環境学習の取組の周知を図った。	市民自治推進室			
		学校教育室	△	千里リサイクルプラザと共催の1月29日から1月31日に開催する予定だった「第2回環境学習展示発表会」に向けて、学校における取組の周知を図った。							
		まなびの支援課	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生涯学習活動が停止した。							
		公園みどり室	-	実績なし							
		環境政策室	△	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター（CoIRE）に代わって新たに発足した、阪大大学院工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター（CFI）とあらためて連携研究・教育に係る確認書を交わした。		① 低炭素まちづくりの検討及び推進	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター（CoIRE）と連携し、第3次環境基本計画にもかかわるテーマ（エネルギー分野等）を題材としたワークショップを開催した（4月13日、6月23日、8月31日）。ワークショップでの議論を「2050年の仮想将来世代からのアドバイス・メッセージ」という形でまとめ、第3次環境基本計画にも反映させた。	環境政策室			
	近隣市町村との地域循環共生圏構築に寄与する活動の推進	環境政策室	△	令和元年度に引き続き、本市と能勢町との地域循環共生圏構築に向けた具体的な取組として、「吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進検討会議」を開催し、公共施設における能勢町産等木材の利用推進に向けた検討を行った。		② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用	平成28年度～平成30年度の間、環境省の公募事業である「地域循環共生圏構築検討業務」（実施主体：認定特定非営利活動法人「大阪自然史センター」、活動地域：本市及び能勢町）に参画してきた。 そこの検討を踏まえ、本市と能勢町との連携をより具体的なものにするために、「吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進検討会議」を設置し、公共施設における能勢町産等木材の利用推進に向けた検討を開始した。	環境政策室			
		自治体間交流を推進する室課	-	実績なし		新規項目	例) ●●市で自然体験等イベントを行った。 ●●市の農産物を市内で販売した。	自治体間交流を推進する室課			

令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）				
まもる	未来につながる環境を“まもる”	再生可能エネルギーの活用・設備の導入	環境政策室	○ 再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、市民向けに購入希望者を募ることで、スケールメリットを活かして、再生可能エネルギー比率の高い電気の比較的安全な購入が期待できる、再生可能エネルギー比率の高い電気のグループ購入事業を実施し、延べ239件が切り替えの判断を行った。		④ 再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、購入希望者を募ることで、スケールメリットを活かして、再生可能エネルギー比率の高い電気の比較的安全な購入が期待できる、再生可能エネルギー比率の高い電力のグループ購入事業を市民向けに開始した。今年度は、第1回の電力グループ購入キャンペーンを実施し、再生可能エネルギー比率の高い電力の購入希望者を募集するとともに、購入希望者と同電力を供給する小売電気事業者との契約をサポートした。 また、アジェンダ21すいたによるすいたムーンライトコンサートにおいて、昼間に太陽光パネルで充電した電気自動車展示し、その電力を使ってコンサートにかかる電力をまかなうことで、太陽光発電の導入、普及に関する啓発を行った。また、じぶん発電所作り基礎講座において市民向けに家庭（ベランダ等）で使用可能な自作の太陽光発電設備の啓発を行った。	環境政策室	
		公共施設における率先実行（節エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギー、省資源）	環境政策室	△ 【再生可能エネルギー設備の導入】 平成26年8月9日開催の本市環境施策調整推進会議において、施設や設備の新設及び大規模改修時には、特段の事情がない限り、再生可能エネルギーを導入すること並びに既存の施設においても、可能な限り、積極的に再生可能エネルギーの導入を図ることを決定したことを踏まえ導入を進めている。 （令和2年度の実績） 【小学校・中学校】 吹田市立岸部第二小学校 吹田市立第一中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入 【その他の公共施設】 健都ライブラリー 太陽光発電 30kW を導入  【再生可能エネルギー比率の高い電力調達】 再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、市内において、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設378施設で実施した。		【3】 公共施設における再生可能エネルギー利用の導入促進を図ります。  ② 公共施設における率先実行（節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー）	【再生可能エネルギー設備の導入】 平成26年8月9日開催の本市環境施策調整推進会議において、施設や設備の新設及び大規模改修時には、特段の事情がない限り、再生可能エネルギーを導入すること並びに既存の施設においても、可能な限り、積極的に再生可能エネルギーの導入を図ることを決定したことを踏まえ導入を進めている。 （令和元年度の実績） 【小学校】 吹田市立千里第二小学校 吹田市立高野台小学校 【中学校】 吹田市立第五中学校 吹田市立山田東中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入  【再生可能エネルギー比率の高い電力調達】 再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設336施設で実施した。	環境政策室	
		施設を所管する室課	△ 【令和2年度の実績】 ■再生可能エネルギー 【小学校・中学校】 吹田市立岸部第二小学校 吹田市立第一中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入 【その他の公共施設】 健都ライブラリー 太陽光発電 30kW を導入  ■省エネルギー機器 照明類（LED照明等） 2,783台、空調類 38台、高反射率塗料 2,580㎡等の省エネルギー機器を導入		・節エネルギーの率先実行 ・省エネルギー機器・再生可能エネルギーの導入拡大	学校の大規模改修工事(13件)、トイレリニューアル工事(11件)及び屋内運動場改修工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	学校管理課		
		エネルギー消費削減にむけた啓発活動及び情報提供	環境政策室	△ 令和元年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をHPに掲載することにより、省エネルギー機器等の導入についての啓発を行っている。		【2】 市民・事業者との連携・協働により省エネルギー機器等の導入促進を図ります。  【2】 家庭及び事業所における省エネルギー機器等の改修及び導入に係る促進策を講じます。	アジェンダ21すいたによるすいたムーンライトコンサートにおいて、省エネルギー機器等の導入による省エネ効果について啓発を行った。  平成30年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をHPに掲載することにより、省エネルギー機器等の導入についての啓発を行っている。 また、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対して、吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】（平成30年度版）を運用している。	環境政策室	
ごみの削減や再利用に向けた啓発活動及び情報提供	環境政策室	△ 家庭系ごみ、事業系ごみ及び1人1日あたりのごみの排出量は前年度と比較して減少した。リサイクル率は向上した。 家庭系ごみは、講座等を通じてごみの減量・再資源化について啓発を行っている。また、マイバッグ持参促進運動の展開により、市民のみならず事業者の環境意識の向上につながっている。さらに、事業系ごみについても、事業者への指導を実施している。 今後も、実践的な取組を継続するとともに、発生抑制を優先する社会への転換に向けた取組の推進を図る必要がある。 市民向け：食品ロス削減講座「うっかりさん必見!! 冷蔵庫収納のすゝめ」 推進員向け：全体会（書面開催） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、環境施設見学会等のイベントが実施できなかった。		【2】 12種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりを進めます。	家庭系ごみ、事業系ごみ及び1人1日あたりのごみの排出量は前年度と比較して減少した。リサイクル率は向上した。 家庭系ごみは、講座等を通じてごみの減量・再資源化について啓発を行っている。また、マイバッグ持参促進運動の展開により、市民のみならず事業者の環境意識の向上につながっている。さらに、事業系ごみについても、事業者への指導を実施している。 今後も、実践的な取組を継続するとともに、発生抑制を優先する社会への転換に向けた取組の推進を図る必要がある。 市民向け：ごみ減量再資源化講座「家庭から始めるごみ減量」、食品ロス削減講座「知ってトクする冷蔵庫収納のウラワザ」、環境施設見学会2回、パナソニックスタジアムのGステージで3R推進の啓発 推進員向け：全体会（2回）を開催、環境施設見学会3回開催（食品ロス削減マイバッグキャンペーン6回、北摂地域共通マイバッグキャンペーン1回）	環境政策室			
		事業課	△ 事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。（524回）		【1】 環境マネジメントシステムの普及や事業所向け啓発活動・情報提供活動の充実を図ります。	事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。（340回）	事業課		

令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）				
市民にとっての憩いの空間を“まもる”	生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動	環境政策室	-	実績なし	新型コロナウイルス感染拡大の影響による	新規項目	例) 大学生と協働して、「はらっぱビンゴ」という生物多様性啓発イベントを行った。	環境政策室	
	公園・街路樹の整備及び管理、緑化の推進、緑地の保全	公園みどり室	△	令和2年度は、街区公園2、遊園3を開設しました。		① 低炭素まちづくりの検討及び推進 ・下水熱など未利用エネルギーの活用 ・自動車利用抑制による公共交通機関の利用促進等 ・公園等における緑地の保全及び緑化の推進	令和元年度は、街区公園2、遊園3を開設しました。	公園みどり室	
		道路室	-	吹田市道路・公園樹木適正管理指針に沿った街路樹の管理（令和2年度、街路樹整備実績なし。）		新規項目	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から、既存の植生の保全、地域に応じたみどりの創出、屋上緑化などの項目を挙げて、検討及び実施することを求めた。	環境政策室	
		環境政策室	△	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から、既存の植生の保全、地域に応じたみどりの創出、屋上緑化などの項目を挙げて、検討及び実施することを求めた。		③ 水辺空間の保全、親水空間の創出	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	管路保全室	
	水路等の清掃による環境保全	管路保全室	△	水路の清掃は定期的を実施し、また河川管理者と協働し糸田川の河川清掃を行った。（年2回）		新規項目	アライグマの捕獲器の貸し出しを行い、個体数の減少を図っている。（令和元年度 措置頭数 13頭）	環境政策室	
	特定外来生物の防除	環境政策室	○	アライグマの目撃情報を積極的に発信することで注意喚起を促している。また、アライグマの捕獲器の貸し出しを行い、個体数の減少を図っている。（令和2年度 措置頭数 29頭）					

令和2年度の実績

令和元年度の実績（参考）

そ な え る	気候変動による大規模災害に“そなえる”	防災意識の向上への取組推進	危機管理室	○	コロナに対応した避難所運営ガイドラインを作成。避難所開設、物品等取扱いに関する動画をホームページで公開している。	新規項目	例) 市民に向けた防災訓練を行った。 ホームページで防災マップを公開した。	危機管理室		
		応急給水体制の向上への取組推進	水道部総務室	○	新たに小学校21校に組立式給水タンクを配備し、応急給水体制の強化を図った。（全36校に配備）また、広報誌による啓発を行った。	新規項目	新たに小学校3校に組立式給水タンクを配備し、応急給水体制の強化を図った。（全15校に配備）また、広報誌や訓練等による啓発を行った。	水道部総務室		
		防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進	危機管理室	-	実績なし		新規項目	例) 小学校に、太陽光発電設備と蓄電池を導入した。	危機管理室	
			環境政策室	-	実績なし				環境政策室	
			施設を所管する室課	-	実績なし				施設を所管する室課	
	大雨時の浸水防止のための整備推進	管路保全室	○	市内南部の中の島・片山区において、分水施設整備に着手した。上の川周辺の雨水管路整備に着手した。		新規項目	市内南部の中の島・片山区において、雨水貯留管の整備を行っている。	管路保全室		
	建築物・道路・駐車場の高温抑制の推進 （高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装、駐車場緑化等）及びクールスポットの創出	計画調整室	-	実績なし		① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化（高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など）	令和元年度透水性舗装施工面積：2428.0㎡  歩道等舗装工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備を実施した。 令和元年度実績 都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業 42m2	地域整備推進室		
		道路室	○	歩道舗装更新工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備に努めており、今後も引き続き行う予定である。 令和2年度透水性舗装施工面積（道路室施工分）：11,850㎡	道路室					
		地域整備推進室	-	実績なし	北大阪健康医療都市整備事業 佐井寺西土地区画整理事業 千里丘朝日が丘線道路新設事業					
		環境政策室	△	SMAP及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化や高反射塗装等による蓄熱対策及び高効率な省エネルギー型機器等の採用等による人工排熱対策のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から公共施設と同様にヒートアイランド対策（「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2項目）への取組を検討及び実施することを求めた。	環境政策室					
施設を所管する室課		△	【令和2年度の実績】 高反射率塗料 2,580㎡	学校管理課						
ヒートアイランド現象に“そなえる”	公園みどり室	△	令和2年度完了実績 屋上緑化（0件） 壁面緑化（0件）	公園みどり室						
	道路室	-	吹田市道路・公園樹木適正管理指針に沿った街路樹の管理（令和2年度、街路樹整備実績なし。）	② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進（屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど）						
	環境政策室	△	SMAP及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。		環境政策室					
ドライ型ミストなどによる熱中症対策及び啓発活動	環境政策室	△	市公共施設5か所に設置してあるドライミストを適切に稼働した。 ヒートアイランド現象の経年変化を把握するため、市域における熱帯夜数を数値化した。	④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化 ⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の 新築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、ヒートアイランド現象の把握のため、市域における熱帯夜数の把握を行った。	環境政策室 環境政策室				
					新規項目	例) 「熱中症出陣式」や「すいすいくん祭り」において、熱中症への啓発を行った。	環境政策室			

令和2年度の実績							令和元年度の実績（参考）				
施策の柱	施策	担当室課	自己評価	令和2年度の実績及び評価の理由	備考	取組内容	令和元年度の実績及び評価の理由（参考）	担当室課	備考		
ライフスタイルや事業活動の転換促進	市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進	環境政策室	△	三者協働組織である「アジェンダ21すいた」において、ライフスタイルや事業活動の転換をめざし、市民、事業者、行政の協働により、各種イベントや啓発活動を行った（R2年度実績：「すいたクールアースウィーク」、定期刊行冊子エコレター年3回発行、「すいたクールアースウィーク」に合わせ、市役所本庁舎ロビーでポスター等の展示等実施）  今後も更なる取組を促すための啓発活動に取り組んでいく。	新型コロナウイルス感染拡大の影響による	【1】 市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進を図ります。	三者協働組織である「アジェンダ21すいた」において、ライフスタイルや事業活動の転換をめざし、市民、事業者、行政の協働により、各種イベントや啓発活動を行った（R元年度実績：「すいたクールアースウィーク」、CO2排出ほぼゼロで開催した「すいたムーンライトコンサート」、Panasonic Stadium Suitaでのブース出展・ピッチ周回、定期刊行冊子エコレター年4回発行、みどりのカーテン講座、エコクッキング講座、省エネ相談会、エコキャンダル講座、じぶん発電所作り基礎講座、6月の環境月間に合わせ、市役所本庁舎ロビーでポスター等の展示等実施）  車から排出される二酸化炭素削減のため、市民を対象とした交通安全講習会において、エコドライブの推進を啓発した（2回）。  今後も更なる取組を促すための啓発活動に取り組んでいく。	環境政策室	アジェンダ21すいた推進事業 環境啓発事業		
	低公害車・低燃費車の導入及び普及促進	環境政策室	△	令和2年度から運用を開始した「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN（SMAP）」において、令和12年度までに「エコカーの導入100%」を目標に掲げ、公用車を保有する室課に対し、買い替えの機会を捉え、エコカーの導入を推進している。また、市内における低公害車等の導入及び普及促進策を検討する。		【1】 低公害車・低燃費車利用の導入及び普及促進を図ります。	本計画及び吹田市役所エコオフィスプランに基づき、公用車を所有する室課に対して、公用車買替の機会をとらえて、エコカーの導入を進めていくように、促している。令和元年度、吹田市役所エコオフィスプランの見直しを行い、令和2年度から、「エコカーの導入100%」を令和12年度までに達成することを目標として掲げることとした。今後も引き続き、吹田市役所におけるエコカーの導入促進を図る。また、市内における低公害車等の導入及び普及促進策を検討する。	環境政策室	環境マネジメントシステム運用事業		
	環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進	地域経済振興室	△	令和2年度 エコアクション21認証取得事業補助金の交付については1件の実績であった。今後も補助金制度の周知を図っていきます。		【1】 環境に配慮した事業活動への転換に向け環境マネジメントシステムの導入促進を図ります。	令和元年度 エコアクション21認証取得事業補助金の交付実績については、申請がなく0件であった。今後も企業訪問等により、補助金制度の周知を図っていく。	地域経済振興室	中小企業活性化支援事業		
		環境政策室	△	大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、各団体のエネルギー消費状況の推移やキャンパス等での取組等について意見交換を行った。		これまで、環境マネジメントシステムの導入促進を目的に、大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議を実施し、キャンパス等での環境マネジメントシステムに関する意見交換等を行い、同システムの導入に向けた議論を行ってきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同会議の開催を中止した。	環境政策室	大学等省エネルギーワーキンググループ推進事業			
	事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進	環境政策室	-	実績なし		新規項目	例) 事業者へ省エネ機器への買い替えを促すために、●●を行い、◆者の申請を受けた。	環境政策室			
	エネルギー多量消費事業者などとのネットワークを活用した事業活動転換の促進	環境政策室	△	大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、LED照明やL2-Tech認証製品などの省エネ機器の導入に関する意見交換を行い、各大学や研究機関に対して、事業活動の転換を促した。		【1】 エネルギー多量消費事業者等とのネットワークの構築を進めます。	これまで、市内のエネルギー多量消費事業者である大学・研究機関と環境マネジメントシステムに関する意見交換等を行うことを目的に、大学等省エネルギーワーキンググループ会議を実施し、地域連携の取組を進めてきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同会議の開催を中止した。	環境政策室	大学等省エネルギーワーキンググループ推進事業		
	グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進	契約検査室	△	市の率先行動の一環として、引き続きグリーン調達、グリーン購入の普及を進めている。また、令和2年10月より、環境政策室にて定められた「吹田市環境物品調達方針」に基づき調達業務を行っている。  実績・単価契約物品（事務用品）に係るグリーン購入件数及び金額（令和2年度契約検査室所管分） ・グリーン購入件数9,878件（77.4%） ・グリーン購入金額49,866,007円（81.9%）		【1】 グリーン調達、グリーン購入の普及を図ります。	市の率先行動の一環として、引き続きグリーン調達、グリーン購入の普及を進めている。  実績・単価契約物品（事務用品）に係るグリーン購入件数及び金額（令和元年度契約検査室所管分） ・グリーン購入件数9,594件（73.0%） ・グリーン購入金額48,916,555円（82.8%）	契約検査室			
環境政策室		○	令和2年度から運用開始した「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN（SMAP）」において、「2030年度（令和12年度）グリーン購入100%」を目標に掲げている。また、令和2年8月に「吹田市環境物品等調達方針」を改定し、環境ラベルによりグリーン購入の適否を判断する運用への変更を行い、職員が取り組みやすい環境を整備し、令和2年10月から運用を開始した。令和2年度のグリーン購入率は、81%であった。		吹田市役所エコオフィスプランに基づき、グリーン購入対象物品など環境物品の調達を推進しているものの、グリーン購入があまり進んでいない状況である。令和元年度、吹田市役所エコオフィスプランの見直しを行い、令和2年度から、「グリーン購入100%」を令和12年度までに達成することを目標として掲げることとした。今後は、吹田市環境物品等調達方針及び環境物品等調達ガイドラインの見直しを行い、グリーン購入の促進を庁内で図っていく。	環境政策室	グリーン購入促進事業				
市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進	環境政策室	○	令和2年度から市独自の環境マネジメントシステムである「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN（SMAP）」の運用を開始した。市長をトップとした推進体制のもと、MOTTAINAI（もったいない）精神を持って、率先して節エネ・省エネ・省資源を推進している。令和2年度のSMAP推進本部会議では、物品が必要な室課と提供可能な室課をマッチングする「すてのもったいないシステム（スモシー）」を1年間の重点取組として全庁で取り組むことやL2-Tech認証製品の率先導入の決定等を行った。また、夏季・冬季を節電の重点取組期間として、適正な冷暖房の温度や不要照明の消灯の徹底などの取組を実施した。  （重点取組期間） 夏季 7月～9月、冬季 12月～3月		【1】 吹田市役所エコオフィスプランに基づき、節エネルギーを進めます。  （重点取組期間） 夏季 7月～9月 冬季 12月～3月	吹田市役所エコオフィスプランを市独自の環境マネジメントシステムとして位置づけ、エコチェックシートを活用した取組、率先した節エネを進めている。令和元年度、吹田市役所エコオフィスプランの見直しを行い、令和2年度からMOTTAINAI（もったいない）精神を持って、率先して節エネ・省エネ・省資源を推進することを掲げることとした。また、夏季・冬季を節電の重点取組期間として、適正な冷暖房の温度や不要照明の消灯の徹底などの取組を実施した。	環境政策室	環境マネジメントシステム運用事業			
省エネルギー機器などの導入促進	市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器などの導入促進	環境政策室	-	実績なし	新型コロナウイルス感染拡大の影響による	【2】 市民・事業者との連携・協働により省エネルギー機器等の導入促進を図ります。	アジェンダ21すいたとの連携・協働による十五夜ムーンライトコンサートにおいて、省エネルギー機器等の導入による省エネ効果について啓発を行った。	環境政策室	アジェンダ21すいた推進事業		
	家庭及び事業所における省エネルギー機器などの改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進	地域経済振興室	△	吹田市商店街等商業共同施設設置事業補助金において補助対象となる冷房等の設備導入の際には、省エネ機器の導入の促進を図るよう周知に努めています。		【2】 家庭及び事業所における省エネルギー機器等の改修及び導入に係る促進策を講じます。	吹田市商店街等商業共同施設設置事業補助金において補助対象となる冷房等の設備導入の際には、省エネ機器の導入の促進を図るよう周知に努めています。  平成30年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をHPに掲載することにより、省エネルギー機器等の導入についての啓発を行っている。また、市内で開発や建築などを行う事業者に対して、吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】（平成30年度版）を運用している。	地域経済振興室	環境まちづくりガイドライン運用事業 地球温暖化対策新実行計画管理運用事業		
	家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進	環境政策室	-	実績なし		新規項目	例) 家電買い替えキャンペーンを行い、●●件の申請を受け、買い替えを促した。	環境政策室			



令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）				
再生可能エネルギーの導入拡大	公共施設における省エネルギー機器などの導入推進	環境政策室	△	SMAP及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高効率な省エネルギー型機器等の推進を図るよう働きかけている。	【2】 公共施設における省エネルギー機器等への改修及び導入を進めます。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高効率な省エネルギー型機器等の推進を図るよう働きかけている。	環境政策室	環境マネジメントシステム運用事業 環境まちづくりガイドライン運用事業	
		施設を所管する室課	△	【令和2年度の導入実績】 照明類（LED照明等） 2,783台、空調類 38台、高反射率塗料 2,580㎡等の省エネルギー機器を導入			学校管理課	小学校校舎大規模改修事業、中学校校舎大規模改修事業、小学校トイレ施設整備事業、中学校トイレ施設整備事業、小学校屋内運動場大規模改修事業、中学校屋内運動場大規模改修事業等	
	再生可能エネルギーの活用に関する啓発活動や情報提供の推進	環境政策室	△	令和元年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をHPに掲載することにより、再生可能エネルギーに関する啓発を行うとともに、おおさかスマートエネルギー協議会（市町村部会）等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪府が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。	【3】 再生可能エネルギーに関する啓発活動や情報提供を進めます。	平成30年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をHPに掲載することにより、再生可能エネルギーに関する啓発を行うとともに、おおさかスマートエネルギー協議会（市町村部会）等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪府が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。	環境政策室	環境まちづくりガイドライン運用事業	
	市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用などの再生可能エネルギーの普及促進	環境政策室	-	実績なし	【3】 市民・事業者との連携・協働により太陽光発電・太陽熱利用の普及促進を図ります。	アジェンダ21すいたによるすいたムーンライトコンサートにおいて、昼間に太陽光パネルで充電した電気自動車を展示し、その電力を使ってコンサートにかかる電力をまかなうことで、太陽光発電の導入、普及に関する啓発を行った。また、じぶん発電所作り基礎講座において市民向けに家庭（ベランダ等）で使用可能な自作の太陽光発電設備の啓発を行った。	環境政策室	アジェンダ21すいた推進事業 環境啓発事業	
	家庭及び事業所における再生可能エネルギー活用を拡大するための促進策の検討・推進	環境政策室	○	公共施設における屋根貸し事業については、発電を行っているJR吹田駅前中央自転車駐車場ほか2施設の発電実績や写真等を市HPにて掲載し、啓発を行っている、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、庁内において実施した再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達をホームページで公開し普及促進を図った。また、同様の目的で、市民向けには、購入希望者を募ることで、スケールメリットを活かして、再生可能エネルギー比率の高い電気の比較的安全な購入が期待できる、再生可能エネルギー比率の高い電気のグループ購入事業を実施し、延べ239件が切り替えの判断を行った。	【3】 再生可能エネルギー利用を拡大するため新たな導入促進策を講じます。	公共施設における屋根貸し事業については、発電を行っているJR吹田駅前中央自転車駐車場ほか2施設の発電実績や写真等を市HPにて掲載し、啓発を行っている、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、庁内においては、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設336施設で実施した。また、市民向けには、購入希望者を募ることで、スケールメリットを活かして、再生可能エネルギー比率の高い電気の比較的安全な購入が期待できる、再生可能エネルギー比率の高い電力のグループ購入事業を開始した。今年度は、第1回の電力グループ購入キャンペーンを実施し、再生可能エネルギー比率の高い電力の購入希望者を募集するとともに、購入希望者と同電力を供給する小売電気事業者との契約をサポートした。	環境政策室		
	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進	環境政策室	△	【再生可能エネルギー設備の導入】 平成26年8月9日開催の本市環境施策調整推進会議において、施設や設備の新設及び大規模改修時には、特段の事情がない限り、再生可能エネルギーを導入すること並びに既存の施設においても、可能な限り、積極的に再生可能エネルギーの導入を図ることを決定したことを踏まえ導入を進めている。 （令和2年度の導入実績） 【小学校・中学校】 吹田市立岸部第二小学校 吹田市立第一中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入 【その他の公共施設】 健都ライブラリー 太陽光発電 30kW を導入	【3】 公共施設における再生可能エネルギー利用の導入促進を図ります。	平成26年8月9日開催の本市環境施策調整推進会議において、施設や設備の新設及び大規模改修時には、特段の事情がない限り、再生可能エネルギーを導入すること並びに既存の施設においても、可能な限り、積極的に再生可能エネルギーの導入を図ることを決定したことを踏まえ導入を進めている。  （令和元年度の導入実績） 【小学校】 吹田市立千里第二小学校 吹田市立高野台小学校 【中学校】 吹田市立第五中学校 吹田市立山田東中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入	環境政策室	環境マネジメントシステム運用事業 環境まちづくりガイドライン運用事業	
		施設を所管する室課	△	（令和2年度の導入実績） 【小学校・中学校】 吹田市立岸部第二小学校 吹田市立第一中学校 各小中学校に太陽光発電 10kW を導入 【その他の公共施設】 健都ライブラリー 太陽光発電 30kW を導入			学校管理課	-	
	RE100に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進	環境政策室	△	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、庁内においては、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設378施設で実施した。また、再エネ100%の電力プランでの調達に向けて、検討を開始した。まずは、高圧電力（負荷率40%以下）で実施し、順次、高圧電力（負荷率40%以下）及び低圧電力に拡大していく方向で検討している。	新規	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、庁内においては、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設336施設で実施した。	環境政策室		
	施設を所管する室課	△	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設378施設で実施した。	施設を所管する室課					
	防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進	環境政策室	-	実績なし	新規	例 ●●●件の太陽光発電設備及び蓄電池を導入した。	環境政策室		
危機管理室		-	実績なし	例 ●●●件の防災拠点への太陽光発電設備と蓄電池の導入を促進した。			危機管理室		
施設を所管する室課		-	実績なし	例 ●●●施設において、太陽光発電設備と蓄電池の導入を行った。			施設を所管する室課		

令和2年度の実績							令和元年度の実績（参考）				
施策の柱	施策	担当室課	自己評価	令和2年度の実績及び評価の理由	備考	取組内容	令和元年度の実績及び評価の理由（参考）	担当室課	備考		
ごみの発生抑制を優先する社会への転換	食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化	環境政策室	○	食品ロス削減講座「うっかりさん必見!! 冷蔵庫収納のすゝめ」を開催し、市民に啓発を行った。また、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を開始し、プラスチックごみの削減等について啓発した。折をみて、市報にごみ減量に関する記事を掲載した。		【1】 生ごみのたい肥化などに関する啓発活動や情報提供の充実を図ります。	ごみ減量・再資源化推進活動促進業務を4地区に委託し、各地区の啓発活動を推進した。ごみ減量・再資源化講座「家庭からはじめるごみ減量」や食品ロス削減講座「知ってトクする冷蔵庫収納のウラワザ」を開催し、市民に啓発を行った。 パナソニックスタジアムのGステージにて、3R推進の啓発を行った。	環境政策室	ごみ減量・再資源化啓発事業		
	市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化	環境政策室 学校教育室	△ △	「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」を年1回開催し、三者協働によるごみ減量及び再資源化について意見交換をした。 2月に実施した環境教育担当者会では、次年度の取組に生かせるよう、各学校の取組を紹介し交流する機会を設けた。		【1】 市民団体や事業者との連携・協働により学校や地域の環境教育・環境学習の充実を図ります。	「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」を年2回開催し、三者協働によるごみ減量及び再資源化について意見交換をした。また、市内食品スーパーの店舗前で食品ロス削減キャンペーンを6回開催。 環境教育担当者会を4月に実施し、各校に環境教育に関する情報や市民団体や事業者との連携・協働について発信することで、年間の見直しを持って、出前授業や体験活動の充実を図ることができた。また、2月の環境教育担当者会では、次年度の取組に生かせるよう、各学校の取組を紹介し交流する機会を設けた。	環境政策室 学校教育室	ごみ減量・再資源化啓発事業 環境教育推進事業		
	環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化	環境政策室 事業課	△ △	ごみ排出量1.5t以上の事業者向け研修会を実施し、事業者に対するごみの減量・再資源化の促進に努めた。今後も取組を継続し、事業者の意識向上を図る必要がある。 事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。(524回)		【1】 環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実を図ります。	ごみ排出量1.5t以上の事業者向け研修会を実施し、事業者に対するごみの減量・再資源化の促進に努めた。今後も取組を継続し、事業者の意識向上を図る必要がある。 事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。(340回)	環境政策室 事業課	ごみ減量・再資源化啓発事業 事業所減量・資源化指導事業		
	「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けたPR活動の実施	環境政策室	△	「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づき、意見交換会を2回開催し、北摂地域の市報で一斉にマイバッグ推進を呼びかけた。		【1】 市民・事業者・行政のパートナーシップで、レジ袋削減・マイバッグ持参運動やエコイベントなどを推進します。	「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結後、新たに3社が協定締結（意見交換会開催：1回開催） （北摂地域マイバッグキャンペーン：1回開催）	環境政策室	ごみ減量・再資源化啓発事業		
	12種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進	環境政策室 事業課 破砕選別工場	△ △ △	家庭系ごみの排出量は前年度と比較して増加し、事業系ごみ及び1人1日あたりのごみの排出量は前年度と比較して減少した。リサイクル率は向上した。 家庭系ごみは、講座等を通じてごみの減量・再資源化について啓発を行っている。また、マイバッグ持参促進運動の展開により、市民のみならず事業者の環境意識の向上につながっている。さらに、事業系ごみについても、事業者への指導を実施している。 今後も、実践的な取組を継続するとともに、発生抑制を優先する社会への転換に向けた取組の推進を図る必要がある。 市民向け：食品ロス削減講座「うっかりさん必見!! 冷蔵庫収納のすゝめ」 推進員向け：全体会（書面開催） 事業者向け：事業者向け研修会「損していませんか? ~事業系ごみを減らしてコスト削減!」 ・小学生を対象としたバックカー車出前講座は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から不実施。 ・事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。(524回) 平成31年4月の条例改正により資源の持ち去りが禁止されたことに加え、令和2年度はコロナ禍の影響で全体的にごみの搬入量が増えたが、適正に再資源化されている。(実績30品目 8,965.63t)		【2】 12種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりを進めます。	家庭系ごみ、事業系ごみ及び1人1日あたりのごみの排出量は前年度と比較して減少した。リサイクル率は向上した。 家庭系ごみは、講座等を通じてごみの減量・再資源化について啓発を行っている。また、マイバッグ持参促進運動の展開により、市民のみならず事業者の環境意識の向上につながっている。さらに、事業系ごみについても、事業者への指導を実施している。 今後も、実践的な取組を継続するとともに、発生抑制を優先する社会への転換に向けた取組の推進を図る必要がある。 市民向け：ごみ減量再資源化講座「家庭から始めるごみ減量」、食品ロス削減講座「知ってトクする冷蔵庫収納のウラワザ」、環境施設見学会2回、パナソニックスタジアムのGステージで3R推進の啓発推進員向け：全体会（2回）を開催、環境施設見学会3回開催（食品ロス削減マイバッグキャンペーン6回、北摂地域共通マイバッグキャンペーン1回） 事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。(340回) 平成31年4月の条例改正により資源の持ち去りが禁止されたため、この対象のごみ量は増加しているが適正に再資源化されている。また、焼却対象のごみについても減量されており、効果は上がっている。(実績31品目 8093.14t)	環境政策室 事業課 破砕選別工場	ごみ減量・再資源化啓発事業 廃棄物減量等推進員事業 事業所減量・資源化指導事業 ごみ処理事業		
多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築	資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油の拠点回収の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進	環境政策室 事業課 破砕選別工場	△ △ △	本庁舎及び出張所において廃食用油の回収を行い、リサイクル業者に売却し、有効活用を図った。今後、更に市民にとって利便性の良い回収場所や有効な活用方法について検討する必要がある。(廃食用油売却量：令和2年度 5.82t) ペットボトルの回収量、回収拠点ともに微増した。回収量：243.24t 回収拠点：114箇所 ペットボトル・廃食用油など年ごとに搬入量は増えているが、他の資源ごみ同様に適正に再資源化されている。		【2】 資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油などの拠点回収等の拡大など、リサイクル手段の拡充を進めます。	本庁舎及び出張所において廃食用油の回収を行い、事業者に売却し、有効活用を図った。今後、更に市民にとって利便性の良い回収場所や有効な活用方法について検討する必要がある。(廃食用油売却量：令和元年度 6,530kg) ペットボトルの回収量、回収拠点ともに微増した。回収量：216.08t 回収拠点：112箇所 搬入されたごみを適正に処理し、各種再生品目に選別を行うことにより再生資源業者に売却した。また、再生資源事業者と情報交換を行い、再生利用の取り組みを行っている。(実績31品目 8093.14t)	環境政策室 事業課 破砕選別工場	ごみ減量・再資源化啓発事業 家庭系ごみ収集運搬直営事業 家庭系ごみ収集運搬委託事業 ごみ処理事業		
	再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化	環境政策室 事業課	△ -	再生資源集団回収への報償金の交付を行ない、市民等への支援を実施した。また、環境保全活動等に取り組んでいる市民・事業者等に対する表彰を行った。 今後、より効果的な支援策や啓発活動について検討及び実施する必要がある。 (再生資源集団回収実績：令和2年度 448団体、6,845.922トン) 回収量は、新聞等の発行部数と比例して減少している。また、実施団体数は前年度と比較して減少しているため、さらなる啓発活動に努める。 北摂地域の市報で一斉にマイバッグ推進を呼びかけた。 小学生を対象としたバックカー車出前講座は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から不実施。		【2】 再生資源集団回収など、地域リサイクル活動の活性化を図ります。	再生資源集団回収への報償金の交付を行ない、市民等への支援を実施した。また、ごみ減量・再資源化に取り組んでいる市民・事業者等に対する表彰を行った。 今後、より効果的な支援策や啓発活動について検討及び実施する必要がある。 (再生資源集団回収実績：令和元年度 456団体、7,548トン) 回収量は、新聞等の発行部数と比例して減少している。また、実施団体数は前年度と比較して減少しているため、さらなる啓発活動に努める。 ごみ減量・再資源化推進活動促進業務を4地区に委託し、各地区の啓発活動を推進した。マイバッグ持参運動によるごみの減量を推進した。 小学生を対象としたバックカー車出前講座を開催し、集団回収やリサイクル活動について啓発を行った。(36回)	環境政策室 事業課	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業 ごみ減量・再資源化啓発事業 事業所減量・資源化指導事業		
	再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化	環境政策室 破砕選別工場	△ △	資源リサイクルセンターでは、自転車、木工、布等の各市民工房において、指導員が修理のアドバイスを行ったり、不要となったものを使用可能な再生品に作り変えるなど、リサイクル活動の実践を行っている。また、展示コーナーにおいて、市民工房で再生した成果品を常設展示している。 平成31年4月の条例改正により資源の持ち去りが禁止されたことに加え、令和2年度はコロナ禍の影響で全体的にごみの搬入量が増えたが、適正に再資源化されている。(実績30品目 8,965.63t)		【2】 再生品の使用拡大を図るとともに、再生資源事業者との連携によりリサイクルシステムの安定化を目指します。	再生資源集団回収業者の定例会議に年1回参加し、意見交換を行っている。 資源リサイクルセンターでは、自転車、木工、布等の各市民工房において、指導員が修理のアドバイスを行ったり、不要となったものを使用可能な再生品に作り変えるなど、リサイクル活動の実践を行っている。また、展示コーナーにおいて、市民工房で再生した成果品を常設展示している。 平成31年4月の条例改正により資源の持ち去りが禁止されたため、この対象のごみ量は増加しているが適正に処理し、各種再生品目に選別を行い再生資源業者に売却した。また再生資源業者と情報交換を行い、再生利用の取組を行っている。(実績31品目 8093.14t)	環境政策室 破砕選別工場	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業 資源リサイクルセンター事業 ごみ処理事業		
	フードドライブの推進及びフードバンクとの連携	環境政策室	○	年2回（お中元、お歳暮）開催。2か所（環境政策室、子育てプラザ）で回収し、子供食堂や社会福祉協議会に提供している。		新規項目	例) 子供食堂へ企業と連携して、余った食材の提供を行った。	環境政策室			

令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）					
資源循環	排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進	廃棄物管理責任者などを通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透	環境政策室 事業課	△ -	市が受け入れる事業系一般廃棄物の排出量が、月2トン以上の全ての事業所（多量排出占有者）に対し、廃棄物管理責任者を選任させ、「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出を義務付けている。（多量排出占有者 令和2年度 202事業所） 多量排出占有者に対するごみ質調査は新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から不実施。そのため入居テナントに対する指導啓発も実施していない。		【3】 廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化を図り、事業者全体に排出者責任の意識を浸透させます。	市が受け入れる事業系一般廃棄物の排出量が、月2トン以上の全ての事業所（多量排出占有者）に対し、廃棄物管理責任者を選任させ、「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出を義務付けている。（多量排出占有者 令和元年度 202事業所） 多量排出占有者に対してごみ質調査を行い、排出者責任の意識の向上を図った。（12回） 多量排出占有者と共同で入居テナントに指導啓発を行い、排出者責任の意識の向上を図った。（54回）	環境政策室 事業課	ごみ減量・再資源化啓発事業 事業所減量・資源化指導事業
		事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者への指導強化などによるリサイクルの促進	環境政策室 事業課	△ △	多量排出占有者202事業者に対し、ごみ減量マニュアルを配布した。また、事業系一般廃棄物について研修会を開催し、ごみの減量・再資源化への意識を高めた。 吹田市役所におけるごみ質調査については、新型コロナウイルスの影響で実施していない。 事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。（524回）		【3】 事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者等への指導強化等により、リサイクルを促進します。	多量排出占有者202事業者に対し、ごみ減量マニュアルを配布した。また、事業系一般廃棄物について研修会を開催し、ごみの減量・再資源化への意識を高めた。 吹田市役所におけるごみ質調査については、新型コロナウイルスの影響で実施していません。 事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。（340回） また、本市主催の事業系ごみに関する研修会に参加し、参加者に対して指導啓発を行った。	環境政策室 事業課	ごみ減量・再資源化啓発事業 事業所減量・資源化指導事業
		燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び古紙など資源回収ボックスの利用促進	資源循環エネルギーセンター	△	搬入時に持ち込みごみの常時監視を行い焼却不適物の持ち帰りの指導を行うとともに、搬入時に持ち込んだ古紙等資源物は、計量前の資源回収ボックスに投入するよう指導している(検査回数：9回、資源回収量：59.91トン)	新型コロナウイルス感染症対策により検査回数が減少	【3】 燃焼ごみ以外の搬入禁止を周知徹底するとともに、古紙等資源回収ボックスの利用を促します。	搬入時に持ち込みごみの常時監視を行い焼却不適物の持ち帰りの指導を行うとともに、搬入時に持ち込んだ古紙等資源物は、計量前の資源回収ボックスに投入するよう指導している(検査回数：38回、資源回収量：70.18トン)	資源循環エネルギーセンター	資源循環エネルギーセンター 塵芥焼却処理事業
	剪定枝などのチップ化や腐葉土化、下水汚泥の肥料化や建設資材化など、市によるごみ減量行動の率先実行	環境政策室	△	「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN (SMAP)」に基づき、コピー用紙購入枚数の削減に取り組んでいる。近年増加傾向にあるが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による小中学校の休校や施設の閉館などで減少した。引き続き、各室課に、裏紙利用等呼びかけ、コピー用紙購入枚数の削減を図る。また、タブレット会議の導入等を検討し、庁内でのペーパーレス化を目指す。		【3】 吹田市役所工コオフィスプランに基づき、コピー用紙購入枚数の削減に取り組んでいるが、増加傾向である。各室課に、裏紙利用等呼びかけ、コピー用紙使用枚数の削減を図る。また、タブレット会議の導入等を検討し、庁内でのペーパーレス化を目指す。	環境政策室	環境マネジメント運用事業		
		道路室	-	街路樹の伐採木を焼却処分せずにチップ化。（令和2年度実績数量：70.55 t）	街路樹等維持管理事業	【3】 街路樹の伐採木を焼却処分せずにチップ化。（令和元年度実績数量：52.75 t）	道路室	街路樹等維持管理事業		
		公園みどり室	△	公園樹木の落葉を腐葉土化して花壇の土として使用したり、剪定枝をチップ化して自然路の舗装材として使用するなど、公園の維持管理を通じてごみ減量行動に取り組んだ。 令和2年度実績：剪定枝のチップ化 209 t	樹木再資源化事業	【3】 除草ごみ、剪定枝の腐葉土化や堆肥化、下水汚泥の肥料化や建設資材化など、市がごみ減量行動を率先します。	公園みどり室	樹木再資源化事業		
	持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築	水再生室	△	下水汚泥はコンポスト（肥料化）として活用することにより、下水道資源の有効利用ができた。 今後、より循環型社会に対応した汚泥処理方法の検討を引き続き進め、継続的、安定的なシステム構築を目指す。 令和2年度実績 汚泥有効利用量 12,068.4 t	処理場建設改良 処理場維持管理		下水汚泥はコンポスト（肥料化）として活用することにより、下水道資源の有効利用ができた。 今後、より循環型社会に対応した汚泥処理方法の検討を引き続き進め、継続的、安定的なシステム構築を目指す。 令和元年度実績 汚泥有効利用量 12809.160 t	水再生室	処理場建設改良 処理場維持管理	
		リサイクルや適正処理などの推進に適した分別収集体制の確立	事業課	△	ペットボトルの回収量、回収拠点ともに微増した。回収量：243.24 t 回収拠点：114箇所		【4】 リサイクルや適正処理等の推進に適した分別収集体制を確立します。	ペットボトルの回収量、回収拠点ともに微増した。回収量：216.08 t 回収拠点：112箇所	事業課	家庭系ごみ収集運搬直営事業 家庭系ごみ収集運搬委託事業
		施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築	資源循環エネルギーセンター 破砕選別工場	△ △	市民の暮らしを支える安心安全な施設として、長期にわたり稼働できるように、計画的に整備を実施しました。また、焼却で生じた熱をごみ発電等で、積極的に利用することにより持続可能な低炭素社会実現に寄与しました。（建設分担金：2,652千円、災害復旧分担金：2,028千円） 施設の老朽化に伴い安定した運用ができるようごみ処理計画に基づき整備・修繕を実施している。ごみの選別を行うことにより減量及び再資源化を行うとともに循環社会の推進を図っている。また、長寿命化総合計画を策定し、これに基づき基幹的改良工事を行っている。		【4】 施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムを構築します。	施設の老朽化に伴い、安定した運用ができるようごみ処理計画に基づき整備・修繕を実施し、処理を行っている。ごみの選別を行うことにより減量及び再資源化を効率的に行うとともに循環社会の推進を図っている。また、長寿命化総合計画を策定し、これに基づき基幹的改良工事を行うための発注仕様書の作成を行った。（実績31品目 8093.14 t）	資源循環エネルギーセンター 破砕選別工場	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業 ごみ処理事業
		ごみ減量の推進による最終処分量の削減	資源循環エネルギーセンター 破砕選別工場	△ △	最終処分量を削減するために、ごみ減量施策を実施するとともに、焼却後の灰から鉄分や熔融スラグ、メタルを生成し再資源化することにより、積極的に資源回収並びに利用促進に努めました。（建設分担金：2,652千円、災害復旧分担金：2,028千円） 平成31年4月の条例改正により資源の持ち去りが禁止されたことに加え、令和2年度はコロナ禍の影響で全体的にごみの搬入量が増えたが、適正に再資源化されている。（実績30品目 8,965.63 t）		【4】 ごみ減量を推進し最終処分量の削減に努めます。	最終処分量を削減するために、ごみ減量施策を実施するとともに、焼却後の灰から鉄分や熔融スラグ、メタルを生成し再資源化することにより、積極的に資源回収並びに利用促進に努めました。（建設分担金：1,655千円、災害復旧分担金：4,712千円） 平成31年4月の条例改正により資源の持ち去りが禁止されたため、この対象のごみ量は増加しているが適正に再資源化されている。また、焼却対象のごみについても減量されており、効果は上がっている。（実績31品目 8093.14 t）	資源循環エネルギーセンター 破砕選別工場	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業 ごみ処理事業
災害廃棄物処理に関する計画の適正な運用	環境政策室	△	災害廃棄物にかかる初動期対応マニュアル策定にむけて検討を進めている。		新規項目	例) 災害廃棄物処理計画の改訂を行った	環境政策室			

令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）					
水資源の有効利用と健全な水循環の推進	雨水の有効利用の推進	環境政策室	-	実績なし		新規項目	例) 雨水利用の啓発冊子を作り、●●冊配布した。	環境政策室		
	下水処理水などの再利用の推進	水再生室	△	処理水の再利用については、現在、川面下水処理場において事業者向けに処理水を供給しており、今後の利用の拡大については、市民ニーズとそれにかかるコストを勘案しながら検討していく。一方、高度処理水の再利用については高度処理整備事業計画を段階的に進めており、こちらについても再利用を推進していく。	処理場建設改良	【5】 下水の高度処理水などの再利用を推進します。	処理水の再利用については、現在、川面下水処理場において事業者向けに処理水を供給しており、今後の利用の拡大については、市民ニーズとそれにかかるコストを勘案しながら検討していく。一方、高度処理水の再利用については高度処理整備事業計画を段階的に進めており、こちらについても再利用を推進していく。	水再生室	処理場建設改良	
	節水型社会の定着に向けた啓発活動	水道部総務室	△	水道水についてのパネル展示、下水道部協力の下、水循環に関するブースの設置などを実施し、水道水の大切さ、節水意識の啓発に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。		水道水についてのパネル展示、下水道部協力の下、水循環に関するブースの設置などを実施し、水道水の大切さ、節水意識の啓発に努めた。（令和元年度：水道フェア来場者1,078人）	【5】 節水型社会の形成に向け、意識啓発を進めます。	水道水についてのパネル展示、下水道部協力の下、水循環に関するブースの設置などを実施し、水道水の大切さ、節水意識の啓発に努めた。（令和元年度：水道フェア来場者1,078人）	水道部総務室	水道フェア
				職員が小学校へ出向き、水処理に関する実験等とおして、水道水の安全性や水の大切さについての啓発に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				職員が直接小学校へ出向き、水処理に関する実験等とおして、水道水の安全性や水の大切さについての啓発に努めた。（令和元年度：出前授業 小学4年生、6校、698人）	水道部総務室	小学校への出前授業
			小学4年生を対象とした浄水所見学は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。代替として希望校にDVDの貸与とパンフレットの配付を行い、水道水のできる仕組みや水の大切さ、水源保全、節水の啓発に努めた。		小学4年生を対象とした浄水所見学において、浄水施設の見学やビデオ学習等を行い、水道水のできる仕組みや水の大切さ、水源保全、節水啓発などに努めた。（令和元年度：浄水所見学 29校、2,900人）			水道部総務室	浄水所見学	
産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物適正処理についての指導・啓発	環境保全指導課	-	産業廃棄物の適正処理について立入検査を行い、指導・啓発をした。（立入検査 延215件）	産業廃棄物対策事業	新規項目	例) 産業廃棄物について●●件指導を行った。	環境保全指導課		
	使用済自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者などの管理・指導	環境保全指導課	-	使用済自動車及び建設工事現場から発生する産業廃棄物の適正処理について指導した。（自動車リサイクル法 立入検査 2件） （建設リサイクル法 立入検査 29件）	産業廃棄物対策事業	新規項目	例) ○○件の事業者へ指導を行った。	環境保全指導課		

令和2年度の実績							令和元年度の実績（参考）				
施策の柱	施策	担当室課	自己評価	令和2年度の実績及び評価の理由	備考	取組内容	令和元年度の実績及び評価の理由（参考）	担当室課	備考		
環境汚染防止対策の推進	典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)をはじめ、環境汚染の監視体制の充実化による環境汚染の防止	環境保全指導課	△	事業所の立入回数は、大気においては、コロナ感染予防対策のため、大幅な減少となったが、ばい塵発生施設等の稼働状況の報告、大防法・府条例に係る届出施設の測定結果を計量証明書等の写し等で提出を求め、規制基準の遵守を確認した。水質において昨年度と同水準で推移している。今後も事業活動に伴う公害防止対策の向上に向けて、立入検査も含めた事業所への指導、啓発を行っていく必要がある。 また、良好な近隣関係と健全な生活環境を保全することを目的に、工事が行われる際に周辺住民に工事内容が確実に周知されるよう、住民説明の方法や解体工事の内容をお知らせする標識の設置等について、パトロールや特定建設作業実施届出書の提出時に啓発を行うなど周知に努めている。 環境監視においては、必要に応じ測定地点や測定内容を検討し、効果的な監視体制の構築に努めていく必要がある。 (R2立入回数：大気7回、水質41回)	環境汚染防止対策事業	【1】 典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)をはじめ、環境汚染の監視体制の充実を図るなど、環境汚染を防止します。	事業所の立入回数は、大気、水質において昨年度と同水準で推移している。今後も事業活動に伴う公害防止対策の向上に向けて、立入検査も含めた事業所への指導、啓発を行っていく必要がある。 また、良好な近隣関係と健全な生活環境を保全することを目的に、工事が行われる際に周辺住民に工事内容が確実に周知されるよう、住民説明の方法や解体工事の内容をお知らせする標識の設置等について、パトロールや特定建設作業実施届出書の提出時に啓発を行うなど周知に努めている。 環境監視においては、必要に応じ測定地点や測定内容を検討し、効果的な監視体制の構築に努めていく必要がある。 (R1立入回数：大気54回、水質70回)	環境保全指導課	環境監視事業 公害防止対策事業		
	日常生活における公害や環境汚染の防止についての啓発	環境保全指導課	△	市民の環境意識の向上を図るため、環境月間等に合わせ市報に啓発記事等を掲載している。 また、大気環境状況をリアルタイムに確認できる吹田市の大気環境情報のホームページを案内するチラシを活用し、市民の環境への関心を高めるよう努めている。 今後更なる市民の環境意識の向上のため、より効果的な啓発活動の方策を研究していく必要がある。	環境汚染防止対策事業	【1】 日常生活における公害や環境汚染の防止について啓発します。	市民の環境意識の向上を図るため、環境月間等に合わせ市報に啓発記事等を掲載している。 また、大気環境状況をリアルタイムに確認できる吹田市の大気環境情報のホームページを案内するチラシを活用し、市民の環境への関心を高めるよう努めている。 今後更なる市民の環境意識の向上のため、より効果的な啓発活動の方策を研究していく必要がある。	環境保全指導課	環境監視事業 公害防止対策事業		
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正処理の推進	環境保全指導課	-	令和2年度が高濃度PCB廃棄物の処理期間であったため、立入検査を通してPCB廃棄物保管事業者等に対し適正処理を指導した。(立入検査 延109件)	産業廃棄物対策事業	新規項目	例) PCBの処理について事業者に指導した。	環境保全指導課			
	下水道の高度処理化や合流式下水道の改善を進めるなどの水環境の保全	水再生室	△	各下水処理場の高度処理化は、老朽化した施設の再構築に合わせて順次導入する。 また、合流改善施設については、川面下水処理場、南吹田下水処理場及び川園ポンプ場の雨水滞水池の設置が完了しており、整備した施設の活用をはかり、水環境の保全に努めている。	処理場建設改良	【1】 下水道の高度処理化や合流式下水道の改善を進めるなど、水環境の保全を図ります。	各下水処理場の高度処理化は、高度処理整備事業計画に基づき、段階的に整備を進めている。 また、合流改善施設整備については、川面下水処理場、南吹田下水処理場及び川園ポンプ場の雨水滞水池の設置が完了しており、今後、整備した施設の活用をはかり、より一層の水環境保全に尽力する。	水再生室	処理場建設改良		
	遺伝子組換え実験などや病原体など及び放射性同位元素の取扱による環境影響の未然防止	環境保全指導課	△	届出事業所に立入調査を実施し、施設の安全確認を行っており、環境汚染の未然防止に寄与している。引継ぎ、届出対象施設を新規設置しようとする事業者と協定を締結し、本市条例等に基づき、安心安全の確保に努めるよう指導していく必要がある。	環境汚染防止対策事業	【1】 遺伝子組換え実験等や病原体等及び放射性同位元素の取扱による環境影響の未然防止に努めます。	すべての届出事業所に立入調査を実施し、施設の安全確認を行っており、環境汚染の未然防止に寄与している。また、企業立地促進法に基づくバイオ・ライフサイエンス関連産業誘致を目指す本市において、重要な施策と考える。今後、産業誘致関連施設についても、本市条例等の届出対象施設を新規設置しようとする事業者には、本市と協定を締結し、本市条例等を遵守して、当該地域の安心安全の確保に努めるよう指導していく必要がある。	環境保全課	公害防止対策事業		
環境美化の推進	緑あふれる未来サポーター事業を活用するなど、地域での自主的な道路や公園の美化活動の支援	道路室 公園みどり室	○ △	すいた里親道路実施要領に基づき協定を締結した団体(以下、「里親」という。)による清掃等美化活動を支援する事業であり、草花を24,165株配布し、地域の環境美化を推進した。 令和2年度の里親数は49団体となっている。 里親の高齢化が進んでおり、若手の担い手の確保が課題である。 公園緑地の維持管理ボランティア制度である「緑あふれる未来サポーター事業」により、活動資機材の貸与など、市民による除草、清掃、花壇管理、竹林管理等の美化活動を支援した。 【令和2年度実績】 緑あふれる未来サポーター 94団体(99公園緑地)		【2】 緑あふれる未来サポーター事業を活用するなど、地域での自主的な道路や公園の美化活動を支援します。 【令和元年度実績】 緑あふれる未来サポーター 101団体(70公園緑地)	すいた里親道路実施要領に基づき協定を締結した団体(以下、「里親」という。)による清掃等美化活動を支援する事業であり、草花を22,865株配布し、地域の環境美化を推進した。 令和元年度の里親数は47団体となっている。 里親の高齢化が進んでおり、若手の担い手の確保が課題である。 公園緑地の維持管理ボランティア制度である「緑あふれる未来サポーター事業」により、活動資機材の貸与など、市民による除草、清掃、花壇管理、竹林管理等の美化活動を支援した。	道路室 公園みどり室	緑あふれる未来サポーター事業 緑あふれる未来サポーター事業		
	環境美化推進重点地区の指定の推進	環境政策室	△	令和2年度は新たな環境美化推進重点地区の指定をしていない。		【2】 環境美化推進重点地区の指定を進めます。	令和元年度は新たな環境美化推進重点地区の指定をしていない。	環境政策室	環境美化啓発事業 環境美化清掃委託事業		
	市民・事業者と協力した公共空間の環境美化の推進	環境政策室	-	吹田市環境美化に関する条例施行規則第9条に基づき、環境美化推進員を選任し、市民・事業者とともに環境美化の啓発を図っている。(令和2年度 活動団体 24団体 1139名) その他、市民・事業者と継続した環境美化活動を実施し推進を図っている。 実施事業 ・糸田川清掃活動(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・環境美化キャンペーン(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)		【2】 市民・事業者と協力し、公共空間の環境美化を推進します。	吹田市環境美化に関する条例施行規則第9条に基づき、環境美化推進員を選任し、市民・事業者とともに環境美化の啓発を図っている。(令和元年度 活動団体 25団体 1140名) 違法簡易広告物撤去活動員による違法簡易広告物の撤去を実施している。 (令和元年度 活動団体 4団体 29名、活動回数189回、撤去枚数0枚) その他、市民・事業者と継続した環境美化活動を実施し推進を図っている。 実施事業 ・違法簡易広告物撤去枚数(令和元年度 43枚) ・糸田川清掃活動(令和元年10月30日実施) ・環境美化キャンペーン(令和元年7月4日及び令和元年11月19日実施)	環境政策室	環境美化啓発事業 看板撤去関係事業		
	水路などの清掃による環境保全	管路保全室	△	水路の清掃は定期的を実施し、また河川管理者と協働し糸田川の河川清掃を行った。(年2回)		③ 水辺空間の保全、親水空間の創出	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	管路保全室			

令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）					
ヒートアイランド対策の推進	打ち水やみどりのカーテンなど、身近に取り組めるヒートアイランド現象緩和の啓発活動の推進	環境政策室	-	実績なし	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による	【3】 打ち水やみどりのカーテンなど、身近に取り組めるヒートアイランド現象緩和の啓発に努めます。	「アジェンダ21すいた」において、みどりのカーテン講座を開催し、市民にヒートアイランド現象緩和のための取り組みを紹介した。今後もより効果的なヒートアイランド現象緩和の啓発に努める。また、「すいすいくんまつり」でアジェンダ21すいたの団体会員であるNPO法人すいた環境学習協会、水道部とも連携し、ヒートアイランド対策及び熱中症予防のため、竹の水鉄砲つくりでブース出展し、啓発に努めた。また、熱中症予防プロジェクトと協力し、市役所本庁舎では、約360名の来庁者に、熱中症予防の啓発のため、ドリンクやうちわ等を無料配布し、環境省から「ひと涼みアワード2019」で表彰された。 令和元年度実績：みどりのカーテン講座を実施、各種ヒートアイランド及び熱中症予防のためのプロジェクト	環境政策室	アジェンダ21すいた推進事業	
	雨水浸透の整備による地下水の涵養の推進	管路保全室	△	民間開発事業の事業規模により、好いたすまいる条例に基づき雨水浸透樹設置を指導している。過去の浸水被害箇所から浸透に適した場所を選定した。		【3】 雨水浸透を進め、地下水の涵養を図ります。	民間開発事業の事業規模により、好いたすまいる条例に基づき雨水浸透樹設置を指導している。  浸透樹の設置箇所は増加しているが、今後も浸水被害箇所から浸透に適した場所を検討し、設置箇所を増加していくなかで、地下水涵養に寄与していく。(H29-14箇所 H30-20箇所 R1-14箇所)	管路保全室 管路保全室	開発事業に対する管理者同意の項目のため、事業はありませ 公共下水道事業管渠整備事業	
		道路室	○	歩道舗装更新工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備に努めており、今後も引き続き行う予定である。 令和2年度透水性舗装施工面積（道路室施工分）：11,850㎡			歩道舗装更新工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備に努めており、今後も引き続き行う予定である。 令和元年度透水性舗装施工面積（道路室施工分）：2428.0㎡	道路室	路線道路補修事業 路線道路舗装事業	
		公園みどり室	△	公園緑地の整備については、街区公園を2か所、遊園を3か所開設するとともに、「吹田市記念植樹」制度による市民の寄附による植樹を行った。緑化の推進については、「みどりの協定」、「生垣等緑化推進助成」、「緑化樹配付」等の助成制度の運用や、「花とみどりの情報センター」の管理運営等による緑化啓発を行った。また、開発事業における緑化計画整備マニュアルによる協議等を行った。			公園緑地の整備については、街区公園を2か所、遊園を3か所開設するとともに、「人生節目の記念樹」制度による市民の寄附による植樹を行った。緑地の保全については、「保護樹木・保護樹林」の所有者に対する支援を行った。緑化の推進については、「みどりの協定」、「生垣等緑化推進助成」、「緑化樹配付」等の助成制度の運用や、「花とみどりの情報センター」の管理運営、「花と緑のフェア」による緑化啓発を行った。また、開発事業における緑化計画書制度による協議等を行った。	公園みどり室	みどり推進事業 花とみどりの情報センター管理事業 千里ニュータウンプラザ施設管理事業 みどり普及・啓発事業	
	緑化、アスファルト対策などの蓄熱への対策、節エネルギー、省エネルギーの推進による人工排熱への対策の推進	地域整備推進室	-	実績なし	北大阪健康医療都市整備事業 佐井寺西土地区画整理事業 千里丘朝日丘線道路新設事業	【3】 緑化、アスファルト対策などの蓄熱への対策、節エネルギー、省エネルギーの推進等による人工排熱への対策を進めます。	歩道等舗装工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備を実施した。 都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業 42㎡	地域整備推進室	千里南地区センター再整備事業 千里山駅周辺整備事業 南吹田駅前線立体交差事業 南吹田駅前線関連道路整備事業 岸部中千里丘線道路新設事業	
		計画調整室	-	実績なし						
		環境政策室	△	SMAP及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化や高反射塗装等による蓄熱対策及び高効率な省エネルギー型機器等の採用等による人工排熱対策のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から公共施設と同様にヒートアイランド対策（「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2項目）への取組を検討及び実施することを求めた。			吹田市役所工コオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化や高反射塗装等による蓄熱対策及び高効率な省エネルギー型機器等の採用等による人工排熱対策のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から公共施設と同様にヒートアイランド対策（「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2項目）への取組を検討及び実施することを求めた。	環境政策室	環境マネジメントシステム運用事業 環境まちづくりガイドライン運用事業	
		施設を所管する室課	△	【令和2年度の実績】 高反射率塗料 2,580㎡						
		環境政策室	△	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から環境への取組の検討及び実施することを求めており、その中で平成25年度に作成した啓発用パンフレット（熱環境マップ掲載）を利用した。			【3】 熱環境マップなどを活用し、まちづくりにおけるヒートアイランド現象を緩和します。	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から環境への取組の検討及び実施することを求めており、その中で平成25年度に作成した啓発用パンフレット（熱環境マップ掲載）を利用した。	環境政策室	環境まちづくりガイドライン運用事業
	日照障害電波障害対策	中高層建築物の日照障害などの指導要領に基づき、日照障害・電波障害の未然防止	環境政策室	△	中高層建築物の日照障害等の指導要領に基づき建築主と関係住民との紛争の未然防止に努めている。また紛争が生じたときは申出に応じてあっせん及び調停を行う。引き続き中立的な紛争調整の取組が求められている。（中高層建築物の紛争申出件数 令和2年度 0件）	中高層建築物に係る指導・紛争調整事務事業	【4】 中高層建築物の日照障害等の指導要領に基づき、日照障害・電波障害の未然防止に努めます。	中高層建築物の日照障害等の指導要領に基づき建築主と関係住民との紛争の未然防止に努めている。また紛争が生じたときは申出に応じてあっせん及び調停を行う。引き続き中立的な紛争調整の取組が求められている。（中高層建築物の紛争申出件数 令和元年度 0件）	環境政策室	中高層建築物に係る指導・紛争調整事務事業

令和2年度の実績							令和元年度の実績（参考）			
施策の柱	施策	担当室課	自己評価	令和2年度の実績及び評価の理由	備考	取組内容	令和元年度の実績及び評価の理由（参考）	担当室課	備考	
生物多様性の保全	動植物の生息・生育分布状況などの把握	環境政策室	△	市内の動植物の生息・生育分布状況の把握及び生物多様性の保全検討の基礎資料とするため、自然環境調査を開始した（調査期間：令和2～3年度）。調査結果については「すいたの自然2021」としてまとめる予定。		新規項目	例) すいたの自然2021にて調査を行った。	環境政策室		
	特定外来生物の防除活動	環境政策室	○	アライグマの目撃情報を積極的に発信することで注意喚起を促している。また、アライグマの捕獲器の貸し出しを行い、個体数の減少を図っている。（令和2年度 措置頭数 29頭）		新規項目	アライグマの捕獲器の貸し出しを行い、個体数の減少を図っている。（令和元年度 措置頭数 13頭）	環境政策室		
	生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動	環境政策室	-	実績なし	新型コロナウイルス感染拡大の影響による	新規項目	例) 大学生と協働して、「はらっぱペンゴ」という生物多様性啓発イベントを行った。	環境政策室		
	自然体験・学習などの活動の推進	自治体間交流を推進する室課	-	実績なし		新規項目	例) 能勢町と連携して里山DAY CAMPを開催した。	環境政策室		
		環境教育を推進する室課	-	実績なし		新規項目	例) ○○市にて自然体験のイベントを行った。 ○○市と連携して、自然体験ツアーを行った。	自治体間交流を推進する室課		
		環境政策室	-	実績なし	新型コロナウイルス感染拡大の影響による	新規項目	例) わくわくの里で子供たちに自然体験イベントを行った。 小学生を対象に、●●などの自然体験学習を行った。	環境教育を推進する室課		
自然資源の持続的な利用	公共建築物などへの地域材の利用推進	環境政策室	△	令和元年度に引き続き、地域材利用推進に向けた具体的取組として、「吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進検討会議」を開催し、公共施設における能勢町産等木材の利用推進に向けた検討を行った。		新規項目	地域材利用推進に向けた具体的取組として、「吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進検討会議」を設置し、公共施設における能勢町産等木材の利用推進に向けた検討を開始した。	環境政策室		
		施設を所管する室課	△	ベンチ補修工事等に大阪府内産材を活用した。 令和2年度 地域材利用量 15㎡		新規項目	ベンチ補修工事等に大阪府内産材を活用した。 令和2年度 地域材利用量 14.3㎡	施設を所管する室課		
	木育の推進	環境政策室	△	資源リサイクルセンターにて、木工工房を設置し、来館者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境を設けている。 また、指定管理者にて、木工教室や木工体験イベント等木育につながる取組を実施している。		新規項目	資源リサイクルセンターにて、木工工房を設置し、来館者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境を設けている。 また、指定管理者にて、木工教室や木工体験イベント等木育につながる取組を実施している。	環境政策室		
		保育・教育を所管する室課	-	実績なし		新規項目	例) 保育園や幼稚園に木育に関する啓発を行った。	保育・教育を所管する室課		
	地産地消 <sup>※1</sup> の取組推進 （※1 本計画における地産地消とは、市域内及び北摂地域（6市3町）の資源を市域で消費することを指す。）	地域経済振興室	-	新型コロナウイルス感染症により、産業フェアは次年度に延期、市内朝市も年間14回実施予定だったものが5回の実施（予約販売含む）となったためです。実施できる状況になれば、感染症対策を講じた上で地産地消の推進に取組みます。		新規項目	令和元年度実績：産業フェアに出展、市内朝市は年13回実施（3月に1回開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染症のため中止）	地域経済振興室		
みどり・自然共生	みどりを継承する	住宅地のみどりの保全	公園みどり室（吹田市第2次みどりの基本計画（改訂版）にて進行管理）	-	-	-	第2次みどりの基本計画（改訂版）にて進行管理	-	公園みどり室	
		丘陵・斜面のみどりの保全	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		農地とため池の保全	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		公園・緑地の適切な維持管理	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		大学のみどりの保全	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		道路のみどりの適切な維持管理	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		河川と水路の適切な維持管理	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	みどりを生み出す	商業地・業務地の緑化	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		住宅地の緑化	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
		公共施設の緑化	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	身近な公園・緑地の新規整備	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室		
	まちづくりに併せたみどりの拠点の創出	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室		
	大規模な公園・緑地の未開設区域の整備	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室		

令和2年度の実績						令和元年度の実績（参考）			
みどりを活かす	拠点や骨格となるみどりの保全	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	ネットワーク軸となるみどりの形成	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	在来生物の生息・生育環境の保全	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	公園・緑地の再整備	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	公園の運営管理	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	みどりのまちづくり意識の普及・啓発	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	みどりが持つ多様な効果の活用	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
市民参画・協働により、みどりのまちづくりを進める	花とみどりの情報センターの充実	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	みどりの人材育成	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	市民参画・協働によるみどりのまちづくり推進組織の設立	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	みどりの助成制度の見直し	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	市民参画・協働によるみどりのまちづくりの推進	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
	みどりの調査と研究	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室	
「緑化推進基金」の有効活用	同上	-	-	-	同上	-	公園みどり室		



令和2年度の実績							令和元年度の実績（参考）				
施策の柱	施策	担当室課	自己評価	令和2年度の実績及び評価の理由	備考	取組内容	令和元年度の実績及び評価の理由（参考）	担当室課	備考		
景観まちづくりの推進	公共施設の整備などにあたっての景観まちづくりにおける先導的な役割の推進と民間開発事業に対する誘導	都市計画室	△	民間開発事業等に伴い、景観形成地区の追加指定を行うなど、地区の特性に応じた景観まちづくりを推進している。 (景観形成地区 令和2年度追加指定2地区、累計28地区) 景観まちづくり条例に基づき、民間事業者等に対し良好な景観まちづくりへの誘導が行われ、景観に配慮したまちづくりが進んでいる。また、公共施設の整備等に当たっては、先導的な景観まちづくりの役割を果たすよう連携や調整を図っている。 景観まちづくり条例に基づく事前協議・届出受付件数…292件（うち、景観形成地区96件）	景観まちづくり推進事業	【1】 公共施設の整備等に当たっては、景観まちづくりにおける先導的な役割を果たすとともに、民間開発事業に対する誘導を図ります。	民間開発事業等に伴い、景観形成地区の追加指定を行うなど、地区の特性に応じた景観まちづくりを推進している。 (景観形成地区令和元年度追加指定5地区、累計26地区) 景観まちづくり条例に基づき、民間事業者等に対し良好な景観まちづくりへの誘導が行われ、景観に配慮したまちづくりが進んでいる。また、公共施設の整備等に当たっては、先導的な景観まちづくりの役割を果たすよう連携や調整を図っている。 景観まちづくり条例に基づく事前協議・届出受付件数…260件（うち、景観形成地区73件） 屋外広告物について、令和2年4月の中核市移行に伴う事務移譲に向け、本市の景観特性、土地利用特性に応じた規制について調査、検討し、吹田市屋外広告物条例を制定した。	都市計画室	景観まちづくり推進事業		
	市民、事業者などへの景観まちづくりに関する啓発や取組の支援	都市計画室	△	いいでしょこのまち作品展と屋外広告物パネル展を開催したことや屋外広告物適正化旬間（9/1～9/10）に、大阪屋外広告美術協同組合と屋外広告物状況についてパトロール等を行い、景観まちづくりを推進している。	景観まちづくり推進事業	【1】 市民、事業者等への景観まちづくりに関する啓発や取組の支援に努めます。	景観パネル展やいいでしょこのまち作品展、屋外広告物パネル展等を開催するとともに、景観アドバイザーの派遣や景観まちづくり活動補助金の交付など、啓発や支援を行うことで、景観まちづくりを推進している。	都市計画室	景観まちづくり推進事業		
	良好な景観の形成若しくは風致の維持又は公衆に対する危害の防止を目的とした屋外広告物の規制・誘導	都市計画室	○	吹田市屋外広告物条例に基づき、民間事業者等に対し、良好な景観の形成と安全の確保をするため、規制・誘導を行い、景観まちづくりを推進している。 吹田市屋外広告物条例に基づく許可申請受付件数…374件	景観まちづくり推進事業	新規項目	例) 屋外広告物の規制を行った	都市計画室			
都市環境	鉄道駅など公共交通機関に関わる施設などのバリアフリー化への支援	総務交通室	△	バリアフリー化設備を整備する公共交通機関である、鉄道事業者に補助金を交付し、鉄道駅舎のバリアフリー化を支援した。（令和2年度実績：江坂駅に可動式ホーム柵が設置された。） なお、ノンステップバス導入に対し、補助金を交付する予算を確保していたが、本市の補助を受けず、事業者が独自に事業を実施した。（本市の補助の要件として、国の補助金を受けることとしている。令和2年度は、国の予算の都合上、予定していた事業に国の補助金が出なかったため、本市の補助要件を満たすことができず、事業者から本市に対し、補助申請は無かった。）		【2】 鉄道駅など公共交通機関に関わる施設等のバリアフリー化への支援を行います。	バリアフリー化設備を整備する公共交通機関である、鉄道事業者に補助金を交付し、鉄道駅舎のバリアフリー化を支援した。 (令和元年度実績：万博記念公園駅及び山田駅に可動式ホーム柵が設置された。また、江坂駅に可動式ホーム柵設置に伴う、ホーム補強及び支障物移設等がされた。令和2年度可動式ホーム柵が設置される予定。) なお、ノンステップバス導入に対し、補助金を交付する予算を確保していたが、本市の補助を受けず、事業者が独自に事業を実施した。（本市の補助の要件として、国の補助金を受けることとしている。令和元年度は、国の予算の都合上、予定していた事業に国の補助金が出なかったため、本市の補助要件を満たすことができず、事業者から本市に対し、補助申請は無かった。）	総務交通室	交通/バリアフリー化整備補助事業		
	鉄道やバスの乗り継ぎなど公共交通の利用に関する分かりやすい情報提供	総務交通室	△	吹田市公共交通マップ2021の作成：20,000部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。転入者への公共交通マップの配布は、転入後の日常生活における自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を効果的に行うことを目的としている。		【2】 鉄道やバスの乗り継ぎなど公共交通の利用に関する分かりやすい情報提供を図ります。	吹田市公共交通マップ2020の作成：20,000部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。転入者への公共交通マップの配布は、転入後の日常生活における自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を効果的に行うことを目的としている。	総務交通室	地域公共交通活性化事業		
	地域の実情に応じたコミュニティバスの運行など、交通環境の充実化	総務交通室	△	千里丘地区で運行しているコミュニティバスの年間乗車人員が令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛等により、前年度に比して約16.7%減となっている。 年間乗車人員：119,331人		【2】 地域の実情に応じたきめ細かなサービスとしてのコミュニティバスの利用促進を図るなど、地域の公共交通環境の充実を図ります。	千里丘地区で運行しているコミュニティバスの年間乗車人員が令和元年度が前年度に比して約1.1%増となっている。 年間乗車人員：143,176人	総務交通室	コミュニティバス運行事業		
	自動車に過度に依存しない交通環境整備	総務交通室	○	市内12駅31箇所での自転車駐車場の設置運営やレンタサイクル事業の実施及び自転車放置防止指導啓発の効果により、移送される放置自転車等が着実に減少している。そのことにより、自転車や歩行者が安心して通行できる環境が整備されてきている。 (放置自転車等移送台数：令和2年度3,201台) (市営自転車駐車場収容可能台数：令和2年度末現在 19,648台)		【2】	市内12駅31箇所での自転車駐車場の設置運営やレンタサイクル事業の実施及び自転車放置防止指導啓発の効果により、移送される放置自転車等が着実に減少している。そのことにより、自転車や歩行者が安心して通行できる環境が整備されてきている。 (放置自転車等移送台数：令和元年度（2019年度）延べ5,635台) (市営自転車駐車場収容可能台数：令和元年度末現在 19,329台)	総務交通室	総合的自転車対策事業		
		道路室	-	自転車ネットワーク選定路線における自転車通行空間整備の実施 令和2年度自転車通行空間整備延長（道路室施工分）：1.41km	北大阪健康医療都市整備事業 佐井寺西土地区画整理事業 千里丘朝日が丘線道路新設事業			道路室			
	歩行者・自転車が安心して歩行・通行できるまちづくりの推進	地域整備推進室	-	実績なし		【2】 市民・事業者との連携・協働により自動車依存生活からの脱却を目指し、自転車利用や歩いて暮らせるまちづくりを推進します。	前年度（平成30年度）で整備を完了している。	地域整備推進室	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業 都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業 都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業		
		環境政策室	△	市民、事業者、行政のパートナーシップのもと、「すいたクールアース大作戦」において、ガンバ大阪所属選手のバネル等を活用し、「近くは歩いておでかけ」というキャッチフレーズにより、市民や事業者が身近にできる省エネ、節エネ活動について啓発を図った。また、市職員が動画によるボールリレーを行い、市youtube等に掲載することで「近くは歩いておでかけ」のキャッチフレーズを広めるよう、努めた。			市民、事業者、行政のパートナーシップのもと、「すいたクールアース大作戦」において、ガンバ大阪所属選手のバネル等を活用し、「近くは歩いておでかけ」というキャッチフレーズにより、市民や事業者が身近にできる省エネ、節エネ活動について啓発を図った。また、市職員が「エコ宣言」を行い、市ホームページに掲載することで「近くは歩いておでかけ」のキャッチフレーズを広めるよう、努めた。	環境政策室	アジェンダ21すいた推進事業		
	都市計画室	-	実績なし				都市計画室				
	計画調整室	-	実績なし				計画調整室				

令和2年度の実績					令和元年度の実績（参考）						
環境に配慮した開発事業の誘導	市域の開発に対し、すまいる条例や環境まちづくり影響評価条例、環境まちづくりガイドラインなどの関連制度の適正な運用による環境に配慮した建築物などの誘導	環境政策室	△	環境まちづくり影響評価条例に基づき、環境影響評価審査会を開催し、（仮称）吹田市藤白台5丁目計画、佐井寺西土地区画整理事業や（仮称）SVH千里丘新築工事に係る審議、（仮称）吹田円山町開発事業に係る事後調査の確認等を行った。 環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】（平成30年度版）を運用し、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、環境への取組の検討及び実施を求めた。	景観まちづくり推進事業	-	【3】 市域の開発に対し、すまいる条例や環境まちづくり影響評価条例、環境まちづくりガイドラインなどの関連制度の適正な運用を行い、環境に配慮した建築物等の誘導策に取り組みます。	環境政策室	環境影響評価審査会を開催し、佐井寺西土地区画整理事業や（仮称）SVH千里丘新築工事に係る審議、（仮称）吹田円山町開発事業に係る事後調査の確認等を行った。 環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】（平成30年度版）を運用し、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、環境への取組の検討及び実施を求めた。	環境政策室	環境影響評価事務事業 環境まちづくりガイドライン運用事業
		都市計画室	○	吹田市景観まちづくり条例の運用により、快適な暮らしの環境の創造に資する美しい景観を推進している。 （吹田市景観まちづくり条例に基づく事前協議・届出受付件数292件） 吹田市屋外広告物条例の運用により、屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進する。（吹田市屋外広告物条例に基づく許可申請受付件数374件）				都市計画室	景観まちづくり条例の運用により、快適な暮らしの環境の創造に資する美しい景観を推進している。 （景観まちづくり条例に基づく事前協議・届出受付件数260件） 屋外広告物について、令和2年4月の中核市移行に伴う事務移譲に向け、本市の景観特性、土地利用特性に応じた規制について調査、検討し、吹田市屋外広告物条例を制定した。	都市計画室	景観まちづくり推進事業
		開発審査室	△	開発事業に関する手続条例を制定、運用することにより、本市の目指すべき良好な住環境の形成・保全、安全で快適な都市環境の創造を進めている。また、開発事業の手続等に関する条例に基づき申請のあった開発事業の情報共有と円滑な事前協議により、良好な住環境の形成・保全、安全で快適な都市環境の創造を進めている。（R2年度実績 開発行為等事前調整会議：1回、開発行為技術調整会議：10回）（R2年度実績 大規模開発事業：10件、中規模開発事業：1,054件）				開発審査室	開発事業に関する手続条例を制定、運用することにより、本市の目指すべき良好な住環境の形成・保全、安全で快適な都市環境の創造を進めている。また、開発事業の手続等に関する条例に基づき申請のあった開発事業の情報共有と円滑な事前協議により、良好な住環境の形成・保全、安全で快適な都市環境の創造を進めている。（R1年度実績 開発行為等事前調整会議：3回、開発行為技術調整会議：7回）（R1年度実績 大規模開発事業：19件、中規模開発事業：1,107件）	開発審査室	開発指導事業